



未来の先生展
2017

エビデンスに基づく発達障害児への 早期発達支援

～自閉症体験ワークからわかるかかわりのコツ～

開催日時

2017年 8月 27日(日) 16:20-17:50

場 所

武蔵野大学有明キャンパス 1号館 3F 205教室

講 師

特定非営利活動法人ADDS

内容

自閉症のあるお子さんの療育支援を行うNPO法人が、応用行動分析学（ABA）に基づく早期発達支援について、データを交えてお話しします。ワークショップの中では、体験ワークがあり、特製メガネ、集音器、分厚い軍手などの体験グッズを身に着けて、自閉症の感覚の特異性を体感することができます。

ここに注目！

自閉症スペクトラム障害の発症率は68人に1人※。決して少ない数ではなく、教育現場にいらっしゃる方々はもちろん、一般の人々の生活の中でも身近なことになりつつあると思います。しかし、その障害特性や、適切なかかわりについての正しい情報は広く知られていないのが日本の現状です。自閉症スペクトラム障害は先天的な脳の機能障害であり、根本から障害を取り除くことはできませんが、早期に適切な支援をうけることで、認知やコミュニケーションの力を伸ばすことが可能です。また、学齢期以降も、周囲の適切なかかわりがあれば、その特性を生かし、本人なりの方法で自立を目指すことができます。ワークショップでは、欧米では支援のスタンダードである応用行動分析学（ABA）に基づく支援の実際と、体験ワークを通じた、かかわりのヒントを持ち帰って頂くことができます！

団体プロフィール



Advanced Developmental
Disorders Support

特定非営利活動法人ADDS。自閉症などの発達障害のあるお子さんとその保護者を、効果の実証された手法によってサポートします。日本中のすべての自閉症のあるお子さんご家族が、生まれた地域や家庭環境、経済状況によって制限されることなく、望めばすぐに、効果の実証された質の高い支援を受けられる社会の実現を目指します。ペアレントトレーニング、支援者の育成事業に加え、研究活動にも力を入れており、平成28年度、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の戦略的創造研究推進事業において社会技術開発センター（RISTEX）が行う助成プログラムにおいて、「エビデンスに基づいて保護者とともに取り組む発達障害児の早期療育モデルの実装」が採択されました。

参加者へのメッセージ

自閉症って言葉は知っているけれどどんな症状？
どんなかかわり方がいいの？療育ってどんなことをするの？
どんな風に発達を促進するの？
そんな疑問をお持ちの方、ぜひご参加ください！
明日から使えるかかわりのコツや、効果的な療育についての情報を、
たくさんお持ち帰り頂けると幸いです。

